

おかわり
ありませんか?

ご
か
せ

議会です!

目 次

- 令和 2 年度当初予算 . . . P2
- 議員報酬の特例に関する条例制定 P3
- 第 1 回定例会について . . . P3～P8
- BCP 策定しました . . . P8
- 町民の声 . . . P10
- ニューフェイス . . . P11
- 今どきの若いモン・地域の話題 P12

五ヶ瀬中学校第 4 回卒業式



卒業証書授与



ホームページはこちら▶

<http://www.town.gokase.miyazaki.jp/akutaka/gokase/index.html>



ポチッ
としてみらんの

五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例 に関する条例の制定について

議員報酬・期末手当に係る支給額は、五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例で定められています。
本定例会において、下記の特例の条例を制定しました。

＜制定の目的＞

- ①議員の職責を果たす事
- ②町民への説明責任を果たす事
- ③療養に集中できる環境を得られる事

＜条例の概要＞

- ①欠席期間に応じて、定められた報酬から一定割合を減額
- ②病気、ケガの療養を主に想定。公務災害・出産などは対象外

議員の公務欠席期間に応じた報酬減額表	
欠席期間	減額割合
90日を超え180日以内	100分の30
180日を超え365日以内	100分の50
365日を超えるとき	100分の80

令和2年度 予算審査特別委員会委員長報告

町長から上程された当初予算は、委員会で詳細な審議がなされます。本定例会では、議員全員で審査を行うために特別委員会を設置しました。

特に重要と判断した事業について報告を致します。

【総務課所管】

・公民館、地域組織の在り方の検討の推進については、地域の将来像を見据え組織再編を最重要課題として取り組むこと。

・町財政の健全運営については新庁舎建設や無線デジタル化など、多額の費用を要する事業が行なわれる。それにより当初予算に計上されなかった事業が見られる。

補正予算対応などで事業推進を図ること。

・消防団員確保については、少数になっている団もあり、その再編を望む。

【福祉課所管】

・総合がん検診や若者検診など新規事業が組まれているが、どの検診も周知徹底し、募集人員を満たすよう努力願う。一人の町民も取り残さない持続可能な事業推進を図りたい。

・福祉センターをはじめ、町内の施設は老朽化が進んでいるものが多く、安全性を考慮し、施設を長く利用できるような体制を整えること。

・社会福祉協議会の運営については厳しい状況である。本協議会の本来の目的が推進できるよう、指導・協力すること。

【農林課所管】

・新規就農など若者の支援が充実してきている一方で、現状では高齢者が中心となる営農である。安定した収入と所得向上、今後の農業の在り方、新しい営農等の可能性を第一次産業プロジェクトチームの重要課題と捉えて課題解決に臨むこと。

・森林環境譲与税の活用を計画的に行うこと。

・有害鳥獣捕獲指導員については、増員するよう、行政主導で検討をされること。

【企画課所管】

・ジビエの取り組みに関しては新たな産業となるよう期待する。

・高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会及び高千穂郷ツーリズム協会の活動報告を望む。

・第三セクターの決算報告と今後の方針について町民への説明責任を果たすこと。運営に関しては国の制度活用などの検討を望む。



委員会審査の様子

令和2年第1回（3月）五ヶ瀬町議会定例会 新年度の予算が決まりました

一般会計 **57億1,450万円**

【3月定例会のあらまし】

3月3日から19日までの17日間の日程で開かれました。

- ・人事案件 1件（固定資産評価審査委員会委員の選任同意）
- ・条例の制定及び一部改正 8件（p3に関連記事）
- ・平成31年度一般会計及び特別会計補正予算 5件
- ・令和2年度一般会計及び特別会計当初予算 7件
- ・その他の議案 4件 ・意見書の提出について 3件

計28議案 全員賛成で可決されました。（出席8名 議長は裁決に加わりません）

デジタル防災行政無線整備事業
3億4,602万円



デジタル防災無線

新庁舎建設費用
14億5,740万円



新庁舎建設予定地

平成31年度補正予算

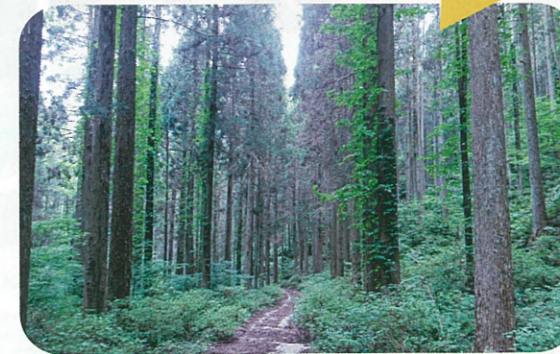
一般会計 2億3,000万円 **減額**

一般会計総額 **47億6,300万円に**

地籍調査費県補助金
減額



尾平町有林立木売り払い
収入増



尾平町有林

【建設課所管】
・社会資本整備総合交付金が多方面に活用される予算となっている。今後も、優先順位を明確にし、地域住民の期待に配慮した事業推進を図ること。
・新庁舎建設着工の運びとなるが、工事完成まで、安全に留意し、町民の期待に沿う庁舎完成を願う。

【教育委員会所管】
・令和2年度は国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭の本県開催年度となっており、十一月には風流でかせフェスタが本町で開催される。
五ヶ瀬の文化を発信できる重要なイベントである。早期から計画的に取り組み、町内外へ広く周知をはかり、万全な体制で臨みたい。

・五ヶ瀬教育ビジョンの検証を行いつつ、五ヶ瀬に居ても離れていても思いを寄せることのできる人材育成を引き続き望む。

また、心豊かな生涯を送るための一つとして、社会教育の充実を望む。

【五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計】

・病院運営は、医師確保は勿論であるが、看護師・レントゲン技師・検査技師などの今後の人材確保が課題であり、先を見越した対応を願う。
・西臼杵地域公立病院部会が設置され様々な分析を行っている。

基本構想策定にあたっては、町民が安心して暮らせる環境づくりに臨むこと。

【五ヶ瀬町奨学金特別会計】

・現在の貸与対象は4年生大学のみとなっているが、有効活用の観点からも、短期大学・専門学校などへも対象を広げられないか再検討すること。

【新型コロナウイルス感染症対策】

・新型コロナウイルス感染症の影響が多方面にみられる。各部署において衛生用品の確保・備蓄を行うこと。

長期間にわたる可能性があり、経済的にもその影響は大きい。それぞれに関係町民に対し、柔軟に対応し、最善の支援が行われることを願う。

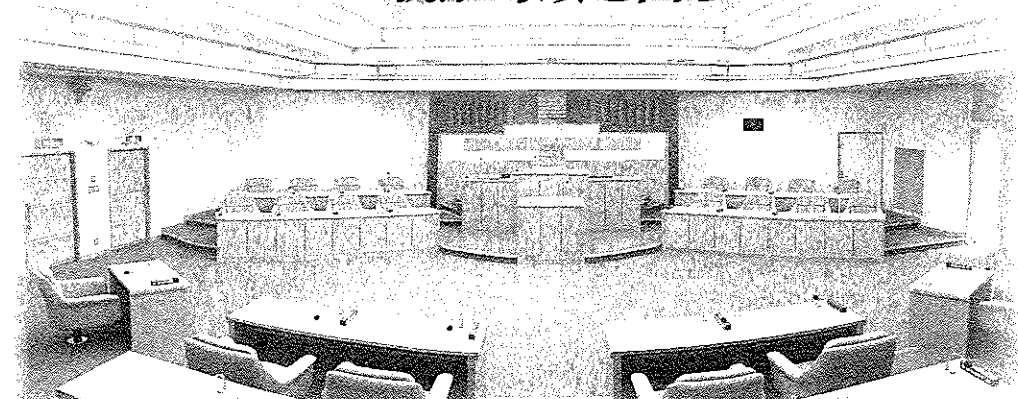
委員長 甲斐松男
副委員長 小笠まゆみ

- ①換気の悪い密閉空間
②多数が集まる密集場所
③間近で会話や発声をする密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

一般質問
我が町政を問う



5人の議員が7件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。議員の質問と町長等の答弁を集約した内容は、4ページから8ページです。全文記録(議事録)は、5月下旬に五ヶ瀬町議会ホームページに掲載します。

白瀧徹哉
○生徒の提言活動について

綾 健一
○10年後の農林業経営についての施策は

秋本良一
○ジビエの利活用計画は
○未来の農業につながる集約化農業について

小笠まゆみ
○道の駅構想について
○新型コロナウイルス感染症対策について

佐藤成志
○ワイナリー今後の展望は



あきもと りょういち
秋本良一議員

ジビエの利活用計画は

【問】獣肉の利活用は農林課・企画課と連携し進めて行く

【問】過去五年間の平均捕獲頭数は

【農林課長】
鹿・猪は五ヶ瀬年平均すると一年に、1540頭の状況。

【問】捕獲獣を資源として考えるべきでは

【農林課長】
資源として考えるが、施設建設計画はない。地産地消の観点からも可能性を探っていく。

【問】近隣町村との広域連携の考えはないか

【農林課長】
旧清和村にある施設は他の自治体からの受け入れをしていない。衛生基準に基づく処理技術の向上が図られることが広域的な体制整備に結びつくと考えられる。

【問】ジビエ利用について今後猟友会を含めての研修、視察または試食会の計画は

【農林課長】
企画課と連携し推進していく。

【問】ジビエの栄養的な特徴はヘルシーであり、たんぱく質等が多い。スポーツ選手や高齢者の食事に適していると思うが利用についての考えは

【農林課長】
スポーツ性貧血には効果ある。たんぱく質が多く調理方法を工夫すると健康に貢献できると思う。
また、スポーツ合宿等の活用にも取り組んで行く。

未来の農業へつながる集約化農業について

【問】大規模な基盤整備は労働力の時間短縮・経費節減等が期待できるが、負担金・投資効果・経営分析のもと慎重な検討が必要

【問】現在の農業所得をどう捉えているか

【農林課長】
農業従事者が減少している現状を重要課題と認識している。収益性をあげる取り組みが必要なので関係機関と連携し、気象条件等にあつた作物の導入・販売を考えて行く。

【問】集約化に向けた計画等の説明は今までやったことはないか

【農林課長】
現在行っていない、農地集積は地権者の理解が不可欠である。

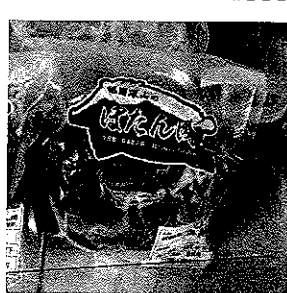
今後、関係機関と協議してみる。

【問】農地集約化のモデル地区選定、農換地含めての考えは

【農林課長】
現在その考えはない。農地中間管理機構の関連で農地整備事業等がある。活用を検討する。

【問】町長の政策である農業プロジェクトにも反映し実現してほしい

【町長】
三月下旬にプロジェクトを立ち上げる。農業を担う人達と意見交換が必須。
換地業務と基盤整備は一体的に進む物である。国も大幅な農業農村整備事業の予算も増額されており、事業推進に向けて、農林課、建設課を中心に全力で進める。





おがさ 小笠まゆみ議員

新型コロナウイルス感染症対策について

道の駅構想について

町長 様々な検証をし、道の駅を含めた、五ヶ瀬の活性化に繋がる施設を検討する

町長 道の駅プロジェクトチームは棚上げになっていると聞かれますが、再開すべきでは

町長 主要地方道竹田五ヶ瀬線の整備が着々と進んでいる。中央道も蘇陽・五ヶ瀬東間に動きが出ています。トンネル工事等の土捨て場も確保している。

町長 五ヶ瀬西インターも計画されるようだが、造成などの状況をみて総合的に検討する。特産品のPR、五ヶ瀬を知っていただけるツール。五ヶ瀬にお出で頂

けるような仕掛けとして今後取り組む。

町長 具体的な時期・場所・規模など早めに示すべきでは

町長 土生く塩間の進捗状況や、中央道のトンネル工事土捨て場の状況・西インターの場所などを踏まえて時期・場所・規模を判断していく。



中央道建設廃土予定地（特産センター横）

新型コロナウイルス集団（クラスター）感染を防ぐ
クラスター感染とは…
人が集まる場所やイベントで感染者が急増すること

集団感染が起こる3条件

1.密閉 換気の悪い空間

2.密集 手の届く距離に多くの人がいる

3.密接 近距離での会話や発声

さらに広がると…

オーバーシュート（増え続ける患者急増）へ

3つの密に注意

新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げている

町長 世界各国でひろがりを見せ、収束が見えず不安が大きい。町の具体的な対策は

町長 高千穂保健所や管内の医療機関、行政機関と相互に連携を図りながら対応している。関係部署とも情報共有し、しっかりと対応できるように備えている。

町長 学校の関係への教育委員会への対応状況は

町長 国の要請を受け臨時休業、部活・スポーツ少年団の活動自粛を通知。放課後こども教室を臨時的に開設し、保護者が働きやすい環境を整えた。2ヶ所開設し全体で25名程が利用している。

町長 学校給食納品業者への対応は

町長 2週間の納品を中止する旨を伝えていますが、今後については更に協議をする。様々な部分に、早めに対処するよう徹底する。

町長 納入業者・農産物生産者や木地屋、ワイナリーを始めとした観光業・宿泊業などへの影響も出てくる。町民の声に柔軟に対応して頂きたい。

町長 ※この質問は3月5日に行われたものです。県内初めての発症を受け、町が対策会議を行う必要がある質問時間を短縮しました。福祉課・病院はしっかりと対応していますので、不安がある方はお問合せください。



さとう せいし 佐藤成志議員

ワイナリー今後の展望は

町長 総合的に検討し方向性を見極める

町長 五ヶ瀬ワイナリーは来客数も増え、ネームバリューも町外に浸透してきた。五ヶ瀬ハイランド、道の駅を含め、今後のワイナリーの展望の協議はしているのか

町長 ワイナリーの取り組みと今後の課題ということで現場から提案を受けた。施設のリニューアル、レストラン等の施設移転などの提案であった。現在進めようとしている、特産センター土捨て場を活用した駐車場用地の拡張、九州中央道五ヶ瀬西インター

の計画、ワイン醸造などを勘案し将来の運営体制は総合的に検討しながら、方向性を見極める。

町長 整備の計画調査は第三者に委託して行う考えなのか

町長 調査委託については予算を伴うものなので、やりやすいという結論は出していない。

町長 ワイナリー自体の将来の運営計画の中にブドウの生産量、ワイン販売目標がある。ブドウの買入れ価格は農林振興の面から重要である。生産量が拡大する中でどう考えているのか

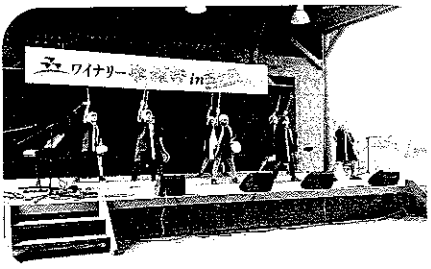
町長 農林振興のためのワイナリーで、経営構造対策事業でつくった醸造施設である。一定レベル、生産者が営農を続けられる価格として決定されている。

町長 株式会社ハイランドの運営も厳しく、町の負のイメージとなつていくように感じる。ワイナリーも健全経営が求められる。リニューアルを含め、ワイナリーが元気であることを町内外に発信すべきでは

町長 スキー場、木地屋の評価は高いと認識している。負のイメージはないと思う。ワイナリー、ハイランドも非常に厳しい中での運営である。町長として、社長としてやらせていただいている。ワイナリーは五ヶ瀬の観光を引っ張る目玉である。議論し、前に進める。



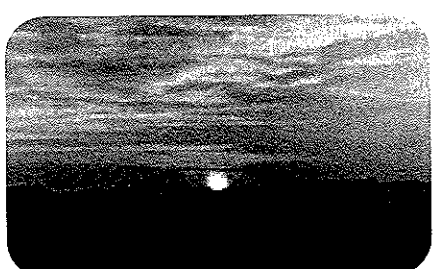
五ヶ瀬ワイン



五ヶ瀬ワイナリー収穫祭



雲の上のぶどう



夕日の里

町長 生徒の提言活動について

町長 参考になる意見もあり真摯に受け止めている

町長 政策提案コンテスト、デザインプロジェクトの狙いと成果を町づくりに活かす考えは

町長 五ヶ瀬中等教育学校、五ヶ瀬中学校生徒の政策提案は中学生並びに町民の意見・アイデアとして真摯に受けとめ、五ヶ瀬教育の一環として継続して行くべきだと考える。

町長 豊かな体験活動から児童、生徒がふる里の魅力に関心や興味を持ち、地域の良さを課題を感じて発信する為の知識・技能、五ヶ瀬に貢献し

ようとする意欲・態度を培うものでGDPはその集大成と考えている。

町長 生徒の提案が町の施策のアイデアとして活用して頂けないかと考え、表彰する事にした。今後も生徒たちの提案を大切にしよう取り組み組んでいく。次年度予算編成を考え11月には各課に示すよう工夫をしている。

町長 生徒の皆さんのモチベーションを高める為にも、町の現施策とのマッチングを図る方法もあるのでは

町長 教育委員会が子供達の将来を見据えて取り組みをしており行政としても優先して支援していく。こうした機会を通して町の課題を年代に関係なく議論するような場となれば良いと思っている。五ヶ瀬を単立って行く子供達が将来五ヶ瀬に帰って来てくれる事が最終目標である。



昨年度のGDPの様子

町長 提案の中で、外国人受け入れ、災害対策から学ぶ事はないか

町長 インバウンドは桑野内農泊を中心に利用者が非常に多いと聞いている。また、台湾の力行国民小学校と五ヶ瀬町内の小中学生との姉妹盟約もその一環と捉えている。

町長 生徒提案の避難訓練の必要性については現在総務課が既にやっている。地区毎の避難訓練に反映出来る部分があれば反映したいと考えている。

町長 宮崎大学教育学部との連携の目的は

町長 今年度大学院生、大学四年生が述べ200人程度が関わって頂きGDPを高める助言等を頂いた。子供達に、より確かな力が付く様、今年度も連携した取り組みを行っていく。

町長 五ヶ瀬中等教育学校政策提言の今後の展開は

町長 目的は五ヶ瀬の関係人口創出です。卒業生が数年後に五ヶ瀬を訪れる様な関係、地域課題解決に取り組む、町の活性化に貢献していく関係、10年後Uターンして複数の事業を展開してくれるといった事を狙い一緒に取り組んでいる。

祝 議員表彰

本定例会において「五ヶ瀬町議会議員表彰規定」に基づき3名の議員の表彰が行われました。

小笠まゆみ 議員（議長4年以上）

甲斐 松男 議員（議員10年以上）

白瀬 徹哉 議員（議員10年以上）

今後も町のために町民のために努力を惜しまず、議会、議員活動に努めてまいります！

ありがとうございました。



定例会で表彰される3議員

【表紙の紹介】

ご卒業おめでとうございます！

五ヶ瀬町立五ヶ瀬中学校第4回卒業式が3月16日に行われました。

今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の関係で、縮小された卒業式となりました。

22名の卒業生が学び舎を巣立ちそれぞれの夢に向かって旅立ちました。

G授業を通して育まれた五ヶ瀬への思いを忘れずにこれからも、頑張ってください。



●あなたの年代は？（○をつけてください）

10代 ・ 20～30代 ・ 40～50代 ・ 60代以上

●「議会だより」に対するご意見ご感想

●町や議会に対するご意見

ありがとうございました

恐れ入りますが、点線で切り取るか、コピーしてご利用ください。

みなさまの声をお聞かせください！！

（例）

○こういう特集を組んで！

○ここが読みにくい！

○議員と意見交換会をしたい！

内容は何でもかまいません。

はがきを切り取るかコピーをして、

議会までお寄せください。

（※大変恐れ入りますが、切手をお貼りになるか、議会事務局までご提出ください。）

◎ご意見は次号でご紹介させていただく場合もございますので、ご了承ください。

◎氏名等は公表いたしません。情報は議会だより以外には使用しません。

10年後の農林業経営についての施策は



あや けんいち 綾 健一議員

問 5年後10年後の農林業の方針について、プロジェクト含めて協議を進める

問 平成26年度から30年度までの農業実態が示されたが詳細をうかがいたい

農林課長
野菜部門・水稲・茶では生産戸数が減っている。果樹はぶどう生産者が増、面積も増えているが全体的に見れば生産者や耕作面積も年々減少傾向にある。

問 ドローンによる防除実験を行ったとあるがその結果は

農林課長
スマート農業への取り組みで中山間地直接支払制度を活用して、鞍岡日陰協定で行った。大変好評であった。導入に関しては様々な検討が必要である。

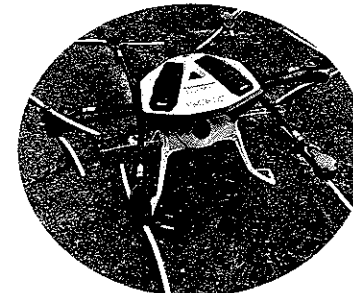
町長
基盤整備の重要性は、私も十分認識しており、やれる所はやると言う思いでいるが、個人の財産として、土地、農地を持たれている。そこを活用し自分の生涯設計をどう立てるか、覚悟を持って基盤整備に当たらないとできない。将来、農業法人化など考えて地元で議論し、やる機運になれば行政としても手はあると思う。

問 農林振興で担い手の育成を図るとあるが、どのような手段があるのか

町長
新規就農者等も含め、次世代支援事業補助制度を活用して支援を行っている。農地の集約では、優良農地を地域集落等ごとに、直接支払いの集落協定がある。一反当たりの収益が上がる作物の検討をし、改善が図られる支援が重要。

問 兼業農家が多く、残された人達で農林業を営んでおり、農林業の衰退を防ぐための、考えは

農林課長
意向調査の現状から、兼業農家については、規模拡大したい方が約70%程度で、現状維持が62%程度との回答。経営、維持の支援をどうするかが課題である。将来的に、新規就農者・若い担い手・中高年者が活躍する場を結集し、農業従事者と話し合い、協議を進めて行く。



ドローンを利用した防除



農林課長
ハウスの自動開閉装置や携帯電話での管理畜産では、牛温恵など使用して牛の発情状況の監視が考えられる。導入については、投資効果及び農業者の要望等により慎重に検討したい。

問 A-1のスマート農業について、補助金等の支援についての考えは

議会の取り組み紹介

〈宮崎県内町村議会1位！！〉

早稲田大学マニフェスト研究所

「議会改革度調査2018」において、五ヶ瀬議会が宮崎県内の県・市町村議会で7位！町村議会では1位！に躍進しました。タブレット導入活用、議会基本条例などが評価されたものです。

今後も議会改革、町民福祉の増進に努めて参ります。

〈五ヶ瀬町議会 BCP 策定！〉

前号で紹介しました、議会業務継続計画（BCP）を策定しました。大規模災害が発生した時などに、町の災害対策本部と連携し被害の拡大防止及び議会機能の早期回復を図る事を目的とし、必要な組織体制・議員の行動基準を定めたものです。

県内町村では初めての取り組みとなります！

〈議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定〉

県内町村で初めての取り組みとなります。申し合わせなどを定めている議会はありませんが、条例として形にしたのは小林市につぎ2番目となります。長期に渡って検討し、本定例会で議員発議で制定しました。（関連記事3ページ）

ご存じですか？「多面的機能支払交付金」

うまく活用して地域・集落の活性化につなげましょう！

五ヶ瀬町では、平成27年度より「ごかせ広域協定」という組織を立ち上げ、多面的機能支払交付金事業に取り組んでおり、「農地維持支払交付金」を取り扱っています。

【農地維持支払交付金とは？】

- ・多面的機能を支える共同活動を支援します。
- ・担い手に集中する水路や農道等の管理を地域で支え、農地集積を後押しします。

【支援対象】

- ・農地法面の草刈り
- ・水路の泥上げ
- ・農道の路面維持
- ・施設の点検
- ・年間活動計画の策定
- ・組織運営に関する研修 など

《問い合わせ先》建設課農村整備グループ (82-1715)

作業日誌の記入要領及び詳細については、建設課農村整備グループへお問い合わせください。



～ 祝 新規事業化 ～

九州中央自動車道 蘇陽～五ヶ瀬東間

長年の多くの方々の思いが、
又一つ形になりました。

【自己紹介】
渡邊 孝 57歳 (鞍岡 東光寺東)
妻一人 子供三人 (全員成人しました)
去る2月9日執行の五ヶ瀬町議会議員補欠選挙で当選させて頂きました。
今回立候補したのは二つの理由があります。議員定数が9名である中、6分の1 (1.5人つまり2人) の欠員の場合は選挙をしなればならないという法律があること、1人も立候補がない場合は50日サイクルで選挙が行われるということを知りました。
次に、私の地元である鞍岡地区の皆様の強い要請があり、五ヶ瀬町のために尽力しようと決意したことがあります。
私自身も相当悩み考えましたが、今は五ヶ瀬の未来のために誠心誠意、全力で議員活動をさせて頂こうと思っています。
まだまだ未熟で勉強不足ですが、一生懸命、一歩一歩努力させていただきます。
今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。



新人議員の渡邊孝です！
よろしくお願いします！

町民の声 ～議会だより1月号へのご意見紹介～

1月(第55)号へ寄せられたご意見・ご要望の一部をご紹介します。

紙面の都合上、抜粋しておりますのでご了承ください。

議会に対する労いのお言葉や励ましの言葉もいただいております。貴重なご意見、ありがとうございました。

《お答えします》

1. 「議会だより」の内容やページ数の検討、町民の意見の掲載

一人でも多くの皆様に読んで頂けるよう、より分かりやすい内容を意識して編集してまいります。

2. 三ヶ所小学校体育館トイレの改善

令和2年度当初予算で、洋式化への改修事業が計上されています。

3. 町立病院が診療所になってはいけない

西臼杵3町町立病院において経営分析を行っており、結果を踏まえて今後の方向性を検討します。

「公立病院の広域医療等に関する特別委員会」において調査を行い、将来を見据えた議論を行います。

4. 町立病院の雨除け対策の整備要望

「検査室前の出入り口のご利用」という回答を得ていますが、現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、出入り口は正面1箇所のみとなっています。

《引き続き取り組みます》

5. 木地屋の債務超過の現状、町民への説明責任

(株)五ヶ瀬ハイランドの決算状況・実態・今後の方向性など、町長の考えも合わせて町民へ説明責任を果たすよう、委員長報告を行いました。

(関連記事p3 委員長報告)

6. 期日前投票所の早期整備 (障がい者への配慮)

以前からの懸案事項で議会でも一般質問を行っています。新庁舎建設後に解決する部分もあります。

7. 放置されている空き家の対策

議会においても空き家バンクの活用、増改築に対応する予算等も推進してきました。

《担当課へお繋ぎします》

議会が対応をお約束できないご意見につきましては、担当課へ紙面でお繋ぎしております。

8. 新年度予算における各種団体への補助金交付、公表

9. 新貫原橋、町道立壁線の交差点への横断歩道設置要望

10. 役場下、五ヶ瀬川体積土砂の除去要望



郵便はがき

恐れいますが、
83円分の切手をお貼りいただくか
議会事務局まで
ご提出ください。

8 8 2 1 2 9 5

五ヶ瀬町大字三ヶ所 1670

五ヶ瀬町議会事務局 行き

氏名 (掲載しません)

ペンネームなど

今どきの若いモン

藤木進一さん (39歳)

鞍岡出身 (有)梶原建設代表取締役 / 五ヶ瀬町商工会青年部長

藤木浩美さん (39歳)

鞍岡出身 (株)藤木石油取締役 / 日本イタリア料理教室認定イタリア料理研究家



藤木進一さん・浩美さん (11区)

お二人は鞍岡小学校に通う三姉妹のお父さんとお母さんです。

(次女三女さんは元気な双子ちゃんです！)

お二人とも五ヶ瀬の豊かな自然の中で育ったので故郷を愛する思いは共通のものがあります。仕事はそれぞれ違いますが、「地域で稼げる企業を目指し日々奮闘中です！」と笑顔でお話してくださいました。

進一さんは、昨年、商工会青年部長として「五ヶ瀬夏祭り」を計画し尽力されました。「町内外多くの方々に喜んでいただき、また、多くの皆様にご協力いただいたことを大変嬉しく思いました」このこと。

「若者が」また五ヶ瀬に帰って来たい」と思うきっかけ作りと、地域の方々に五ヶ瀬で育っている子供たちの成長をみて欲しいという思いがあり、続けていけるよう今年もご協力よろしくをお願いします」とのことです。

浩美さんは、イタリアントマトを栽培しています。「五ヶ瀬から本場イタリアのトマトソースに負けない「Made in JAPAN」のソースを発信したい！」という気持ちで誕生させました。

「世界中の関係機関の皆様のご支援のもと、今、日本全国に旅立っていきます。人と人、地域と地域が繋がる加工品として育てていけるよう頑張りたいです！」

素敵なお二人、これからも夢の実現に向けて頑張ってくださいたいですね！応援します！

..... 地域の話題

シカ、イノシシの新たな地域資源としてのジビエ料理、加工開発、販売にビジネスとしての期待が高まっています！

森本富喜男さん (81歳)、ミツエさん (82歳) にお話を伺いました。

お二人は町内で唯一の民間ジビエ食肉処理加工施設を運営しています。

平成30年に保健所の食肉処理免許を取得。平成31年から本格的に施設を稼働させ、シカ・イノシシ合わせて年間で80頭ほどを捕獲・処理しています。主に個人や特産センターに販売しています。

イノシシの需要が多く、知人から譲り受けてもまだまだ足りないとのこと。「おいしい精肉を提供するには完全な血抜きと解体までの時間が重要」です。

農家の厄介者とはいえ、せつかく頂く命です。無駄にすることなく多くの方に喜んで召し上がって頂けるよう、加工処理に磨きをかけていきたいです」と話されていました。



富貴男さん・ミツエさん (11区)

編集後記

穏やかな気候、桜咲き新たな気持ちになる季節となりました。

旅立ちの時、出会いの時、新年度の始まりであり、節目の時。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で様々な行事が中止・延期となりました。この影響は大きく、不安を募らせている方々も多いと存じますが、様々な対策が講じられています。一人で悩まず、行政や議会、病院・社協・商工会などに相談してくださいね。

こんな時こそお互いに支え合ひましょう！正しく恐れることは難しいですが、3つの密(密室空間・密集場所・密接場面)に気を付け、手洗い・うがいの徹底を行いましょう！一日も早く収束し、平常となることを心から願います。



発行責任者
議長 長 甲斐 政國
議会広報編集委員会
委員長 綾 健一
副委員長 白瀬 徹哉
委員 小笠まゆみ
委員 甲斐 松男
委員 渡邊 孝